

大人になるとあっという間に1年が過ぎるのはなぜ？

校長 濱野 正義

タイトルは「チコちゃんに叱られる!」のお題。令和5年もあと数日で終わり。確かに、毎年、一年一年過ぎるのが早く感じられる。たしかに子供のころは、一日が長かったような気がする。

チコちゃん「毎日毎日充実している素敵な大人ってだーれ?」ということ、大竹まことが指名された。

チコちゃん「今年を振り返ってどう感じる?」

大竹まこと「あっという間。めっちゃくちゃ早い。1年なんて1か月ぐらい。」

チコちゃん「それは何で?」

大竹まこと「たくさん生きてるから飽きちゃったのかな」

チコちゃん「ぼーっと生きてんじゃねえよ!」

チコちゃん「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのは、人生にときめきがなくなったからー」。

その後、千葉大の教授が解説。時間の感じ方は心がどのくらい動くかに関係。つまり、トキメキをどの程度感じるかで変わるとのこと。例として挙げられていたのが、子どものころの食事。「今日のご飯は何かな〜?」「どんな味かな〜?」「星形の人参だ!」などたくさんの発見が食事中に起こっているのに対し、大人はただ食事をするという事実だけ。ただの作業でありトキメキはなし。子どもは様々な感情が沸き起こるので、食事時間も長く感じるのに対して、大人は食事をしただけなので短く感じる。このように、トキメキの心を忘れてしまった大人たちの1年はあっという間に過ぎてしまうというわけです。

では、いつからそのように時間が早く過ぎるように感じるようになるのか?

解説によると、19歳を超えると、時間の進み方が徐々に早く感じられるようになるらしい。

ちなみに、「ときめく」を辞書で調べると、『(動詞) 喜びや期待などで胸がどきどきする。心が躍る』。「わくわく」は『(副詞) 喜ばしい期待に胸はずませている様』とある。一方、英語には「ときめく」や「わくわく」と全く同じ意味になる動詞や副詞は残念ながらありません。しかし、これらの気持ちを表現するフレーズは英語にもあるので、それらをいくつか紹介。

○好きな人にバツリ会って、心臓がとまるくらい胸キュン。 “My heart skips a beat.”

○好きな人が目の前にいて、心臓がバクバク。 “My heart is racing.”

○好きな子に声をかけようと緊張して心臓がドキンドキン。 “My heart is pounding.”

○誰かに助けられ、そのやさしさにときめいた時。 “My heart flutters.”

他にも映画などでは“I fell in love.” “I felt spark.”などもよく耳にします。恋愛のことばかり書きましたが、旅で出会う絶景や美味しい料理を食べた時にも同様の表現は使えます。

【君たちに高校時代をトキメキの連続にするためのアドバイス】

前例のない困難なことに出くわした時、多くの人は「ではやめておこう」となる。そこを、前例がないからこそ、難しいからこそ、「ワクワクする」、「やる気が出てくる」と思えるようにしていこう。

Make your heart dance in your everyday life!

校則検討委員会

校則検討委員会とは、生徒と教員が校則について検討する委員会です。昨年度、生徒総会で校則に関する要望が多く出され、その検討のため昨年の8月に第1回目の委員会を開きました。これまでに12回の会議を行っています。運営・進行を生徒会執行部、クラス代表として生活委員と希望生徒、そして教員が参加し、毎回25名程度で会議を行っています。

昨年度は、主に防寒具と髪型について検討し、防寒具についてはネックウォーマーとタイツの着用が、髪型についてはハーフアップが認められることになりました。今年度も活発に話し合いが行われており、マフラーの色・サイズの自由化が決定しています。今後は男女の髪型のルールについて話し合いが進められる予定です。(写真は昨年度のものです)



校内読書週間

第77回全国読書週間の一環として、11月2日～9日校内読書週間を実施しました。期間中の昼休みに雑誌付録抽選会・古雑誌頒布会を行いました。また、それに先駆けて読書標語コンクールを実施し、以下の通り入選作が決定しました。冬季休業中はぜひ長編など普段読めない本に挑戦してみてください。

- ・最優秀賞 「本の旅 しおりの切符を 忘れずに」島本 乙葉(2-1)
- ・優秀賞 「見つけよう ページの先に ある景色」北野 滉大(1-5)
- ・優良賞 「ひらいて広がる本の世界 とじて育む豊かな心」吉原 藍花(3-5)

(佳作) ・読書にて 我が推し達が 舞い降りる ・読書中 みんなの感性 上昇中
・秋風や ページをめくる テスト明け ・減るページ 私の心に 増える思い
・朝読書 読むたび育つ 知識の芽 ・読みためた 「本」が私の 「体」をつくる
・目で追った 言葉で心は 軽くなる (教務部 図書担当)

選挙講話

11月1日(水)のLHRの時間に、3学年を対象に選挙講話が行われました。この講話は18歳選挙権がスタートしてから毎年実施されているもので、今回は講師に佐世保市選挙管理委員会事務局の方々を迎え、『初めての投票にむけて』のタイトルで、選挙の役割やしくみ、投票の手順や選挙のマナー等について講話をいただきました。10月末に衆議院の補欠選挙があったばかりということで関心が高い生徒も多く、積極的な質問も出るなど有意義な機会になりました。



行事支援部会受験生応援差し入れ

11月14日（火）に、3学年行事支援部会、学年評議員の皆様による受験生に向けた激励の差し入れが行われました。手作りのメッセージや、カツサンド、メロンパン、ジュース、お菓子などたくさんの愛情のこもった差し入れを頂きました。1クラスずつ、教室に向いていただき生徒への激励のお言葉も頂きました。模試が続き、成績の伸びや問題の難しさに悩み、精神的にも体力的にもきつい中で、日々学習に励んでいる58回生ですが、このような応援を頂き、笑顔もたくさん見られました。まだまだ自分の将来に向けた戦いは続きますが、精一杯頑張れるような環境を学校でもご家庭でも協力して作っていただければと思います。

共通テストまで1ヶ月を切りました。体調管理をしっかりとって頑張っていきましょう。（3学年）



主な試合等の結果

<女子ソフトテニス部>

○令和5年度長崎県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技

団体 第3位 個人 第3位 2年 山口姫奈・1年 末永七海ペア（九州大会出場）

<ソフトボール部> 第18回全九州高等学校秋季大会 第3位

<女子バスケットボール部>

○令和5年度佐世保地区高等学校新人体育大会バスケットボール競技 第3位

<放送部>

○令和5年度長崎県高等学校総合文化祭【放送部門】第45回九州高校放送コンテスト長崎県大会

アナウンス部門 優秀賞 2年 吉木和桜、1年 下柳月愛、福永瑛弥仁、松山和叶（県大会出場）

優良賞 2年 武田心愛

朗読部門 優秀賞 2年 伊藤結月、1年 中村真衣（県大会出場）

<科学部>

○長崎県高等学校総合文化祭自然科学部門第29回科学研究発表大会

展示発表の部 部活動部門 優良賞

研究題目「半減期に関する研究（霧と水の呼吸法で科学を学ぶ）」

<西高太鼓>

○令和5年度長崎県高等学校総合文化祭第21回郷土芸能発表大会 銀賞

<その他>

○令和5年度長崎県高等学校総合文化祭図書部門第20回ライブラリーフェスティバル県大会

POPコンクール 優良賞 2年 加藤鈴菜

図書館広報誌コンクール 優良賞



県総文祭

今年度は、11月12日（金）諫早文化会館にて、第19回長崎県高等学校総合文化祭（しおかぜ祭）総合開会式が「パズル～私たちがピースをつなぐ～」大会テーマのもと開催されました。このテーマは、私たち誰ひとり欠けていい存在などなく、同じ形はないパズルのピースのような存在であり、また私たちの文化の力や感性、情熱のピースを絶やさずつないでいきたいという想いが表現されていました。

第1部では加盟校紹介、専門部紹介、第2部では書道専門部の書道パフォーマンス、吹奏楽専門部、合唱専門部の発表があり、第3部では生徒会アピール、高文連旗引き継ぎ等がありました。パズルのピースのようにひとりひとりの違いをお互いに認め合うことの大切さをアピールした良い大会でした。（生徒会）



《12・1月の行事予定》

12月25日	(月)	冬季講座（全学年）	～27日（水）
		三者面談（2学年）	～27日（水）
28日	(木)	共通プレテスト（3年）	～29日（金）
1月3日	(水)	共通テストプレ（3年）	～4日（木）
5日	(金)	冬季講座（3年）	
9日	(火)	授業再開日 / 冬季実力テスト（1・2年）	2年生は～10日（水）
13日	(土)	大学入学共通テスト（3年） / 対外記述（1・2年）	～14日（日） 1年生は13日（土）のみ
20日	(土)	三者面談（3年）	～22日（月）
21日	(日)	第3回英検1次	
25日	(木)	ふるさと創生学年発表会（1年）	
31日	(水)	後期期末考査時間割発表	

保健講話（デートDV防止予防教室）

11月9日、2年生を対象にデートDV防止講話が行われました。NPO法人「DV防止ながさき」より大河内紀美子様をお招きし「対等な関係をつくるために」というテーマでお話し頂きました。デートDVとは何か、アイメッセージ・ユーメッセージの違い、DVが身近で起こっている現状等が紹介されました。また保健委員によるロールプレイングでは会場の緊張感も和み、身近な実践を学ぶよい機会となりました。（保健相談部）

【生徒の感想文より抜粋】

今回のデートDV防止講話を通して、夫婦間で夫からの身体的暴力を受けたことのある人が、6人に1人の割合でいることに驚きました。暴力が生まれるのは、相手と自分の関係が対等でなく、どちらかに大きな力があるからだと思いました。まずは、身の回りにいる家族・友人・恋人などと対等な関係をつくっていききたいです。また、もし自分や周りの人がDV（身体的・精神的・経済的・性的）を受けた時には、迷わずに信頼できる人や相談所に話をしたいと思います。